

SDGs 未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

令和6年度

(令和5年度実績集計)

事業用大規模建築物 データファイル



豊島区
TOSHIMA CITY

目次

- 1** 豊島区のごみについて…………… 3
- 2** 事業系ごみについて…………… 3
- 3** 事業用大規模建築物…………… 3
- 4** 再利用計画書の集計結果と分析…………… 3
- 5** 事業用途延べ床面積3,000㎡以上
建築物の集計値…………… 4
- 6** 事業用途延べ床面積1,000㎡以上
3,000㎡未満建築物の集計値…………… 6

※集計表は、端数処理のため
合計値、再利用率が一致し
ない場合があります。



1 豊島区のごみについて

令和5年度における豊島区のごみ量は、区収集が可燃・不燃・粗大合わせて50,386トン。前年度比3,341トン減少しました。令和5年10月から「プラスチック製容器包装と製品プラスチック」を一括し資源プラスチックとして回収を始めた事によって可燃ごみは2,886トンの減少、不燃ごみは47トンの減少となりました。一方で、粗大ごみは408トンの減少、持込ごみ(※)は1,456トンの増加となりました。



	R3年度(t)	R4年度(t)	R5年度(t)	前年度比	増減(t)
区収集 合計	54,416	53,727	50,386	93.8%	-3,341
区収集 可燃	50,401	49,448	46,562	94.2%	-2,886
区収集 不燃	1,502	1,379	1,332	96.6%	-47
区収集 粗大	2,513	2,900	2,492	85.9%	-408
持込ごみ	29,262	33,341	34,797	104.4%	1,456
計	83,678	87,068	85,183	97.8%	-1,885

※持込ごみ 承認を受けた事業者等が清掃工場や埋立処分場等に直接持ち込むごみ。

豊島区のごみ量の推移



2 事業系ごみについて

豊島区はオフィスビルや飲食店が多く、19,141の事業所(令和3年度統計)があります。

豊島区の事業系ごみについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条に規定する「事業者自己処理責任」の原則を踏まえて、1日の排出量が10kg以上の事業者を民間収集業者へ移行するように取り組んでいます。東京23区では、令和5年10月から事業系一般廃棄物処理手数料(消費税を含む)を40円/kgから46円/kgに改定いたしました。許可業者と事業系一般廃棄物の収集・運搬・処分契約をする際の契約上限額も46円/kgに変更されました。

3 事業用大規模建築物

豊島区では、事業用大規模建築物のごみ減量・リサイクル率向上を図るため、下記の取り組みを行っています。

- ・廃棄物管理責任者の選任依頼
- ・廃棄物管理責任者講習会 令和5年度から動画配信(年2回)
- ・再利用計画書の提出依頼(※)
- ・建築物への立入調査

より一層のごみ減量・リサイクル率向上を図るため、平成21年4月より対象建築物を事業用途に供する延べ床面積1,000㎡以上に拡大しました。

※令和6年度で再利用計画書の提出があった建築物は654件です。

4 再利用計画書の集計結果と分析

豊島区では、豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例に基づき、事業用大規模建築物の所有者等に対して、いくつかの義務を課しています。そのひとつが、再利用計画書の提出です。

今回集計したごみ・資源の発生量・再利用率の数値は、令和5年度の実績量として提出のあった集計値になります。

豊島区の事業用大規模建築物から排出されるごみ・資源の傾向を捉え、今後のごみ減量・リサイクルの取り組みにご活用ください。

5

事業用途延べ床面積3,000㎡以上 建築物の集計値

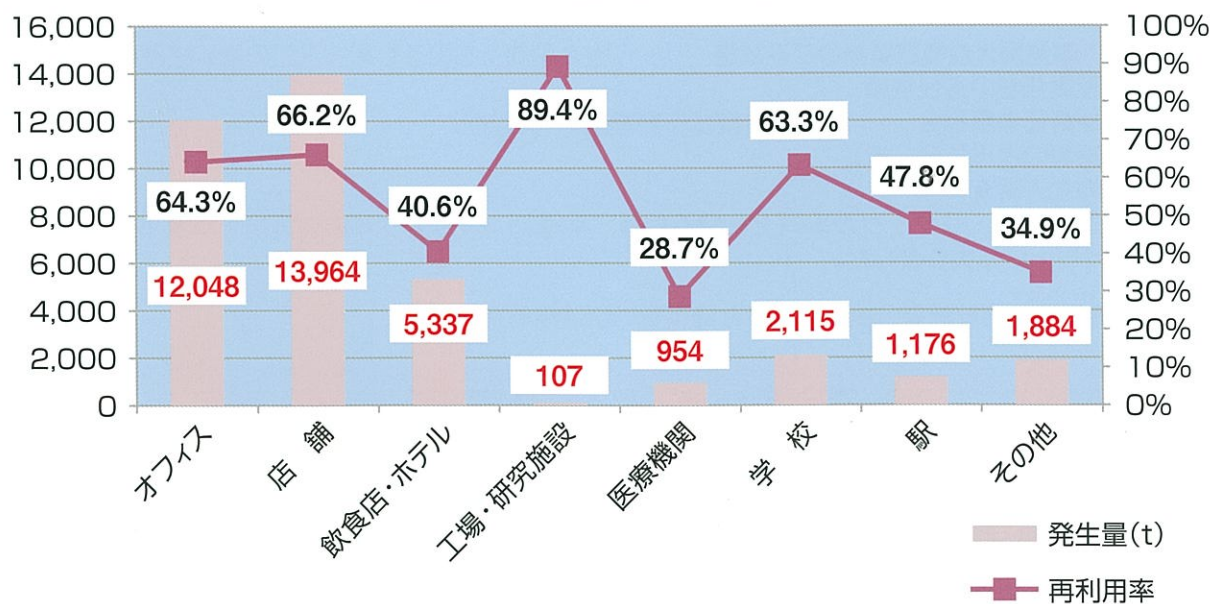
(1) 再利用率の推移

再利用率の推移					
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
62.4%	59.9%	59.9%	59.6%	59.5%	58.8%

(2) 建築物用途別発生量・再利用率（集計建築物数 347件）

用 途	発生量(t)	再利用量(t)	再利用率	合計㎡	従業員数(人)	物件数(件)
オフィス	12,048	7,749	64.3%	1,882,556	81,778	150
店 舗	13,964	9,238	66.2%	796,066	24,241	42
飲食店・ホテル	5,337	2,168	40.6%	356,141	4,640	40
工場・研究施設	107	95	89.4%	17,039	94	3
医 療 機 関	954	274	28.7%	94,832	2,625	10
学 校	2,115	1,339	63.3%	918,445	13,367	51
駅	1,176	562	47.8%	487,792	939	17
そ の 他	1,884	658	34.9%	259,617	4,063	34
計	37,585	22,083	58.8%	4,812,487	131,747	347
一物件あたり重量(t)	108	64				
1 ㎡あたり重量(kg)	8	5				

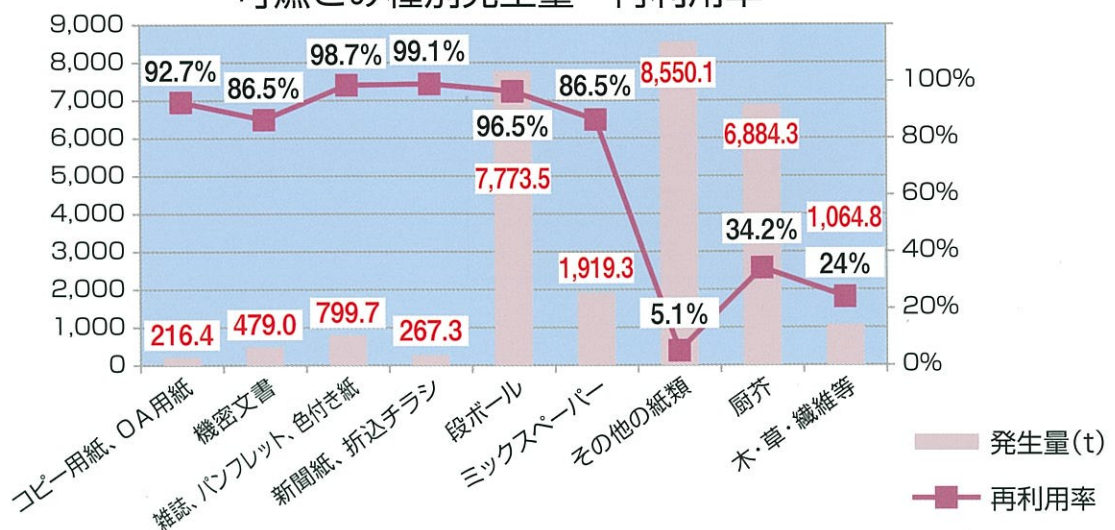
用途別ごみ発生量・再利用率



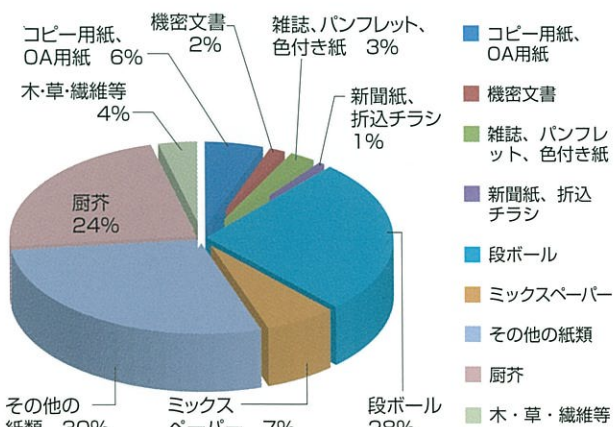
(3) ごみ種別発生量・再利用率（集計建築物数 347件）

ごみの種類			発生量（t）		再利用率（t）		再利用率
			A	構成比 (対全排出量)	B	構成比 (対全排出量)	
可燃物	紙類	①コピー用紙、OA用紙	216	0.6%	201	0.9%	92.7%
		②機密文書	479	1.3%	414	1.9%	86.5%
		③雑誌、パンフレット、色付き紙	800	2.1%	790	3.6%	98.7%
		④新聞紙、折込チラシ	267	0.7%	265	1.2%	99.1%
		⑤段ボール	7,773	20.7%	7,504	34.0%	96.5%
		⑥ミックスペーパー	1,919	5.1%	1,661	7.5%	86.5%
		⑦その他	8,550	22.7%	438	2.0%	5.1%
		紙類小計（①～⑦の計）	20,005	53.2%	11,272	51.0%	56.3%
	その他	⑧厨芥（茶殻・残飯等の生ごみ）	6,884	18.3%	2,354	10.7%	34.2%
		⑨木・草・繊維等	1,065	2.8%	255	1.2%	24.0%
可燃物合計（①～⑨の合計）……………（a）			27,954	74.4%	13,882	62.9%	49.7%
不燃・焼却不適物	再生利用物	⑩飲料用びん類	526	1.4%	522	2.4%	99.3%
		⑪飲料用缶類	1,041	2.8%	1,035	4.7%	99.5%
		⑫ペットボトル	1,333	3.5%	1,330	6.0%	99.7%
		⑬食用油	219	0.6%	210	1.0%	96.1%
		⑭弁当ガラ	605	1.6%	301	1.4%	49.7%
	その他	⑮その他	5,753	15.3%	4,653	21.1%	80.9%
		不燃・焼却不適物合計（⑩～⑮の合計）…（b）		9,477	25.2%	8,052	36.5%
	⑯特定の事業活動に伴う可燃物……………（c）			154	0.4%	149	0.7%
総合計（（a）+（b）+（c））			37,585	100.0%	22,083	100.0%	58.8%

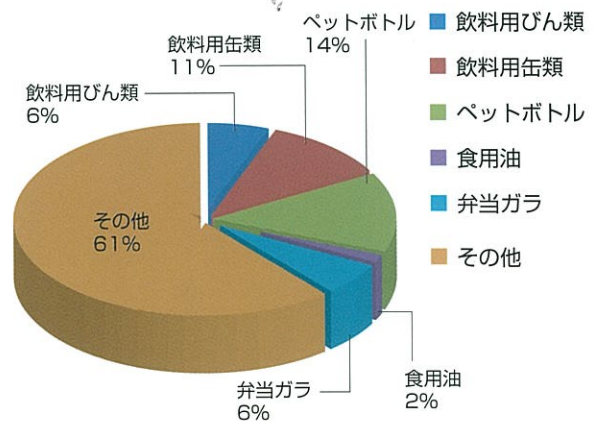
可燃ごみ種別発生量・再利用率



可燃ごみ発生量の組成



不燃ごみ発生量の組成



6

事業用途延べ床面積1,000m²以上 3,000m²未満建築物の集計値

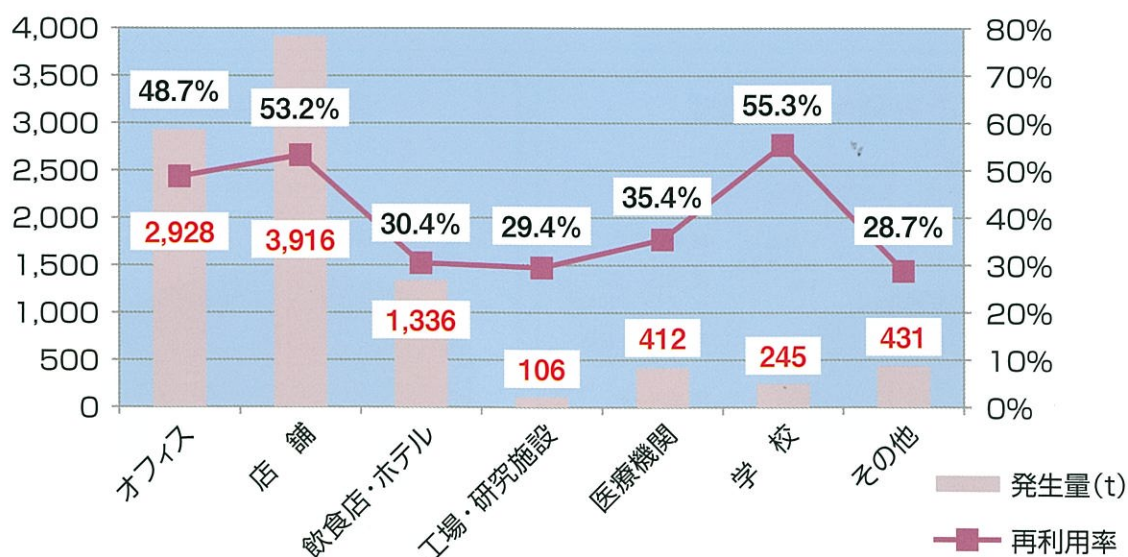
(1) 再利用率の推移

再利用率の推移					
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
41.4%	47.2%	43.9%	51.1%	49.0%	46.4%

(2) 建築物用途別発生量・再利用率（集計建築物数 307件）

用 途	発生量(t)	再利用量(t)	再利用率	合計㎡	従業員数(人)	物件数(件)
オフィス	2,928	1,426	48.7%	277,094	13,372	154
店 舗	3,916	2,083	53.2%	98,898	4,749	49
飲食店・ホテル	1,336	406	30.4%	48,709	1,982	27
工場・研究施設	106	31	29.4%	5,904	184	4
医 療 機 関	412	146	35.4%	22,297	564	13
学 校	245	135	55.3%	36,501	1,490	19
そ の 他	431	124	28.7%	65,098	1,547	40
計	9,374	4,351	46.4%	554,501	23,888	306
一物件あたり重量(t)	31	14				
1 ㎡あたり重量(kg)	17	8				

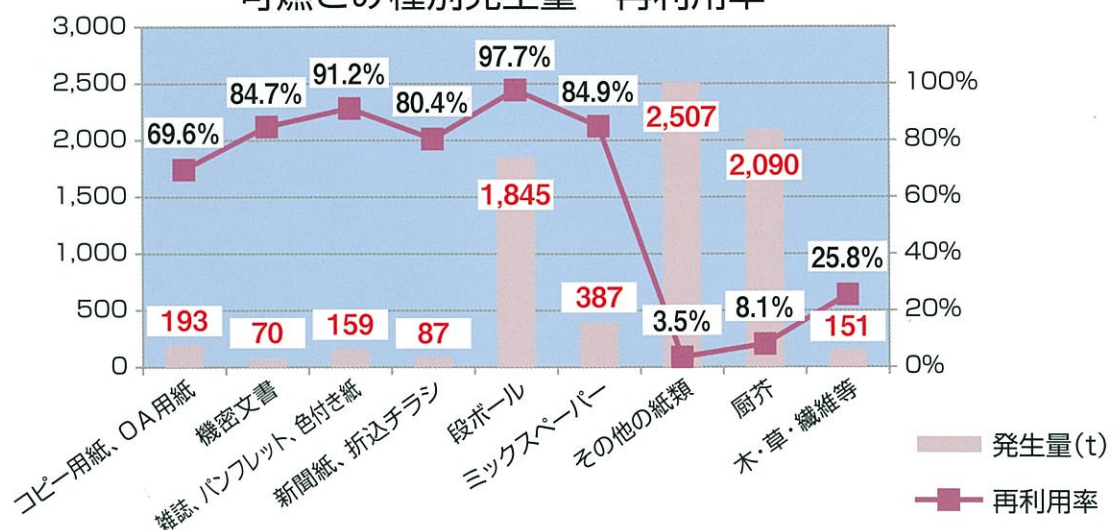
用途別ごみ発生量・再利用率



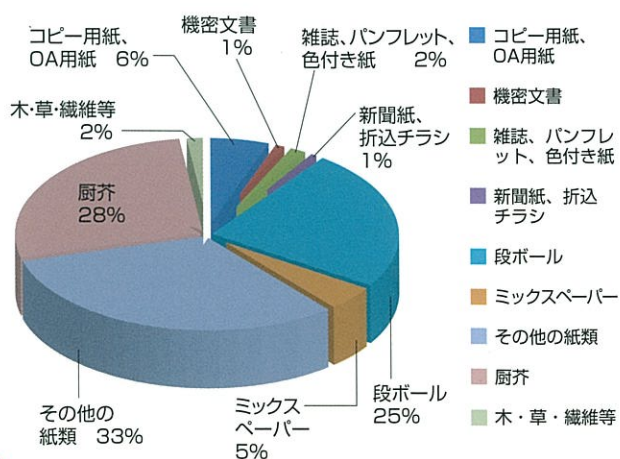
(3) ごみ種別発生量・再利用率（集計建築物数 307件）

ごみの種類			発生量（t）		再利用量（t）		再利用率
			A	構成比 (対全排出量)	B	構成比 (対全排出量)	B/A
可燃物	紙類	①コピー用紙、O A 用紙	193	2.1%	135	3.1%	69.6%
		②機密文書	70	0.7%	59	1.4%	84.7%
		③雑誌、パンフレット、色付き紙	159	1.7%	144	3.3%	91.2%
		④新聞紙、折込チラシ	87	0.9%	70	1.6%	80.4%
		⑤段ボール	1,845	19.7%	1,803	41.4%	97.7%
		⑥ミックスペーパー	387	4.1%	328	7.5%	84.9%
		⑦その他	2,507	26.7%	87	2.0%	3.5%
		紙類小計（①～⑦の計）	5,247	55.9%	2,627	60.3%	50.1%
	その他	⑧厨芥（茶殻・残飯等の生ごみ）	2,090	22.3%	170	3.9%	8.1%
		⑨木・草・繊維等	151	1.6%	39	0.9%	25.8%
可燃物合計（①～⑨の合計）……………（a）			7,488	79.8%	2,836	65.1%	37.9%
不燃・焼却不適物	再生利用物	⑩飲料用びん類	72	0.8%	67	1.5%	92.4%
		⑪飲料用缶類	221	2.4%	215	4.9%	97.6%
		⑫ペットボトル	333	3.5%	318	7.3%	95.4%
		⑬食用油	30	0.3%	22	0.5%	73.9%
	その他	⑭弁当ガラ	234	2.5%	128	2.9%	54.7%
		⑮その他	969	10.3%	748	17.2%	77.2%
		不燃・焼却不適物合計（⑩～⑮の合計）…（b）		1,858	19.8%	1,498	34.4%
	⑯特定の事業活動に伴う可燃物……………（c）			34	0.4%	23	0.5%
総合計（（a）+（b）+（c））			9,381	100.0%	4,356	100.0%	46.4%

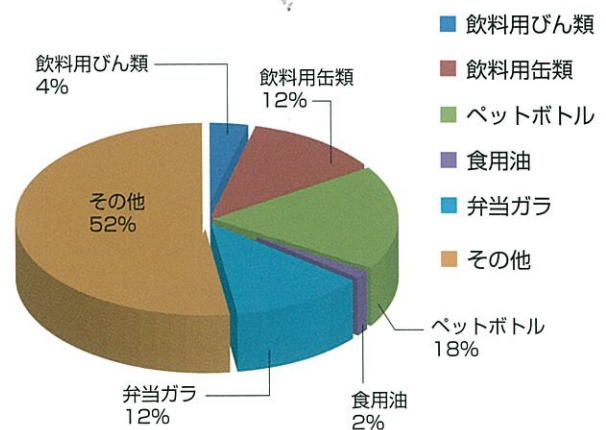
可燃ごみ種別発生量・再利用率



可燃ごみ発生量の組成



不燃ごみ発生量の組成





地球環境の
保全に
寄与できます。



コストの
削減と効率化が
図れます。



ごみ減量・リサイクル推進のメリット



企業イメージ
の向上に
つながります。



従業員の
意識啓発が
行えます。



発行
令和7年2月

豊島清掃事務所
豊島区池袋本町1-7-3
TEL : 3984-9681

この冊子は、再生紙を使用しております。

